

県内景況情報

9月期

製造業

〈食料品〉

〔パン製造業〕

9月は前年同月比ほぼ横ばい。

しかし、店によっては夏場の売上が思わしくなく、機械の故障もあいまって年内で廃業するとのことである。

〔乳製品製造業〕

酪農家の減少による原料乳不足が喫緊の課題である。消費伸び悩みが続く中、販売価格の値下げが懸念される。

〔醤油製造業〕

輸出が対前年比（1月～9月）116%で出荷量を支えている。

〈木材・木製品〉

〔木材製造業〕

売上が悪い。発注が大口から小口に、必要数量分の注文で手間は同じ分かかるが、数量が少ないので売上が伸びないのが現状である。

〔木材製造業〕

商品の動きの悪い中、何とか売上は昨年とほぼ同じ水準を保っている。

〈鉄鋼・金属〉

〔鋳物・鋳鉄業〕

好調企業は緩やかながらも好調を維持しており、不調企業も若干持ち直しの気配が見えてきた。

〈一般機械〉

〔一般機械器具製造業〕

受注状況は組合員間でバラツキあり。電気使用量前年同月比98.8%（前々年同月比100.5%）

〈電機機器〉

〔電気機械器具製造業〕

9月度売上高は、先月より増加（前年同月比でも同様）。産業用ロボット関連は、依然国内外共好調に推移しており、来月度以降の増産を期待している。

〔電気機械器具製造業〕

9月は工場全体的に操業度は高くなってきており、10-12月までは続くのではないかと考えられる。ただ人材については、皆苦しんでいる状態である。

非製造業

〈卸売業〉

〔機械器具卸売業〕

気温の低下が順調で秋ものの動きは例年より良いようである。

〈小売業〉

〔食肉小売業〕

先月より引き続き、豚肉の相場価格高値安定により、粗利の低下。

〔茶小売業〕

一般的に大きな変化は感じられない。10月中旬ごろからの本格的な茶の需要シーズン（又お歳暮商戦）に向けて各組合員共に、特に卸業態の組合員を中心として活発な動きとなっている。

〈商店街〉

〔北九州市〕

30年以上塩漬けになっていた「丸源会館ビル」をマンション業者が取得。

〈サービス業〉

〔ビル管理業〕

当月の売上は、前年同月と比べると約13%上回ったが、前々年同月と比べると、約5%ダウンとなっている。

〔クリーニング業〕

未だ、不況で、好転していない。季節変わりの衣替えを期待しているのが現状。業界は全体的に厳しい状況。

〈建設業〉

〔職別工事業〕

福岡都心部のマンション竣工が前月比84%。市内郊外東部の住宅建設（マンション・戸建）は106%、西部が106%。当組合関係地区全体では、前月比100%となっている（横ばい）。

〔設備工事業〕

台風18号などで雨が多いことや、8月よりの猛暑などを受け、受注が減少。気候の変動は仕事量に繋がり、厳しい状況である。また、官公需の方もやや低調。

〈運送業〉

〔一般貨物自動車運送業〕

ドライバーの高齢化と人材不足で人件費が上昇傾向。燃料費がじわりじわりと上昇し始めた。

福岡県の業種別D・I値の変化

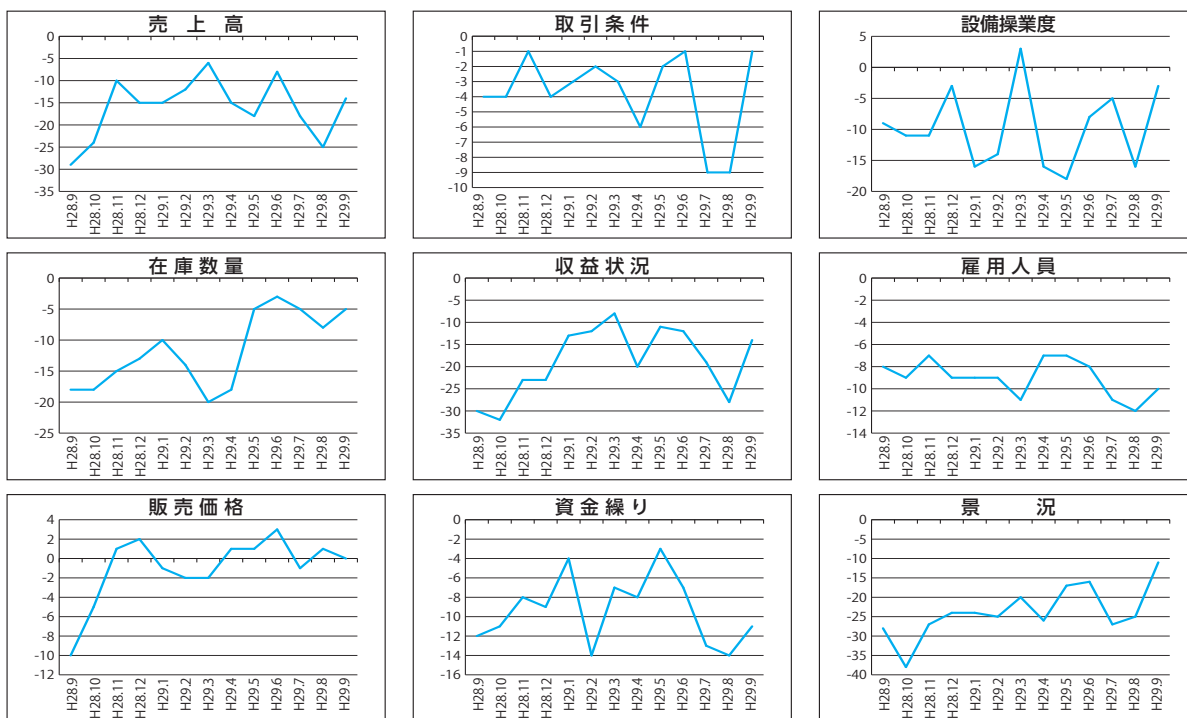
(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	↓	→	→	→	→	→	→	→	↓
	繊維・同製品	↓	→	→	→	↓	→	→	↓	→
	木材・木製品	→	→	→	→	→	→	→	→	↓
	印刷	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	窯業・土石製品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	↑	→	→	→	↑	→	↑	→	↑
非製造業	卸売業	↑	→	→	↓	↓	→	—	→	↓
	小売業	→	→	→	→	→	→	—	→	→
	商店街	→	→	→	→	→	→	—	→	→
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
D・I		-14	-5	0	-1	-14	-11	-3	-10	-11

↑ 増加・上昇・好転 → 不変 ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは・・・Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。

●前月比D・Iの動きをみると、9項目中8項目が上昇した。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>